別記様式第１２　　　　　　　　　　　　　（例示）

ア　発破の設計及び方針

イ　飛石防護施設（防護柵等の図面添付）

ウ　見張人の位置及び人員（図面上に記載のこと）

エ　発破孔口に対する措置

オ　付近民家に対する予防又は警報の方法

カ　発破時刻の制限

キ　１回の発破の全装薬量

ク　その他（振動、騒音対策等）

注 １　できるだけ具体的詳細に記載すること。

　　２　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。